

がんばってます 京都府の消防団



京都市下京消防団 班長

吉村 剛さん

私は小学4年生の時に、下京少年消防クラブに入部しました。その時にお世話になった方が地元の消防団長で、大きくなったら消防団に入る言われ親しみを感じていました。

その後、地元の自主防災会長となった父のすすめもあり消防団に入団し、経験を積むにつれて、これまで興味が無かった地域の防火・防災のため、少しでも役立ちたいと思うようになりました。

また、沢山の先輩や仲間が出来、今では消防団の枠を越えて様々な場で協力し合えることが出来るようになりました。



大山崎町消防団 団員

**岡田 謙さん
堀田 智貴さん
垣内 宏太さん**

私たちは保育所から高校まで同じ学校を卒業し、18歳で大山崎町消防団に入団しました。全員、家族に消防関係者がいたこともあり、自然と友達同士でそろって入団しました。

小さい頃から仲が良く、入団してから

も心強い仲間です。

一昨年には、京都府消防操法大会町代表を目指し、力を合わせて練習を重ねました。

大好きな大山崎町のために役立ちたいという思いは3人とも同じなので、これからも、消防団員として活躍できるように、がんばりたいと思います。



南丹市消防団 団員

片山 敏郎さん

南丹市職員として2年目、消防団員としても2年目です。高校生の頃からライフル射撃をしており、仕事、消防団、ライフル射撃と多忙な生活を送っています。

家の目の前に消防団の詰所があり、自然と消防団へ入団しました。

入団して良かったことは、

地域の人たちとのつながりが深くなったことです。東日本大震災において、消防団が警察や消防の到着を待たずにいち早く救助活動ができたのは、このようなつながりがあったからだと思うので、地域の人たちとの関わりをもっと深めたいと思います。



福知山市消防団 団員

高橋 和利さん

私は福知山市役所に勤務しており、市職員の責務として、また地元へ貢献したいと思い消防団に入団しました。

活動は平均すると月2、3回で、訓練の他には防火広報や、ポンプの点検などを行っています。

消防団に入団して良かったことは、やはり様々な年齢や職業の方と出会い、いろいろな考え方を知ることができたことです。

入団してまだ4ヶ月なので、自分に何が出来るかわかりませんが、地域のため、がんばって活動していきたいと思っています。



京都市右京消防団 団員

大黒 夏季さん

勤務先で普通救命講習を受講したのをきっかけに、困っている方を助けられるようになりたい、万一の時に動ける人でありたいと思い、消防団に入団しました。

京都で大震災が発生した時、今の私になにができるのだろうかと考えましたが、

正直、分かりませんでした。

地元はまだ精通していないことや、経験が少ないこと等が原因だと思うので、団活動へはただ参加するだけでなく、更にプラスになるように学びながら活動したいと思っています。



綾部市消防団 団員

新庄 美和子さん

祖父と父が消防団に所属していたこともあり、消防団は身近に感じていました。

現在は中学時代のプラスバンドの経験をいかし、女性消防団員シルキーファイヤーのラッパ隊として、出初式などで演奏しています。

普段は子どもと関わる仕事をしており、子どもたちに避難訓練や防災の知識を伝えることは、特に大切だと思っています。

子どもたちへの説明や、高齢者の方への戸別訪問など、女性の活躍の場は多いと思うので、これからも、女性としてできることを考えていきたいと思っています。



京丹後市消防団 団員

野木 久聖さん

私は大学、農業研修を終えた後、24歳で京丹後市へ戻り、すぐに消防団に入団しました。

入団した理由は、人間として成長できると思ったこと、また地元との関わりを深めたかったからです。

現在は親子3代で農業に従事し、農業を通じた環境

保全や地域活動に積極的に取り組んでいますが、消防団に入団し、守られる立場から守る立場へ変わったことで、防災への意識が高まり、地域への思いも深くなりました。

これからも地域に根ざした消防団員として、予防・警防活動に熱心に取り組んでいきたいと思っています。



精華町消防団 女性部 班長

下村 由美さん

私は結婚後、精華町へ移住しました。仲間づくりや、町内のことを知りたいと思い、また体力に自信があったので、役に立てるのではないかと考え入団しました。

平成14年度と、平成17年度から平成21年度の間は、女性部の部長としてとても貴重な体験をさせていただきました。

入団して良かったことは、研修などを通じて、同じ気持ちを持った消防団仲間ができたことです。

1人では無力でも、仲間と力を合わせることで大きな力となることを学びました。



京都府知事

山田 啓二

あなたの力が必要です

東日本大震災で被災された皆様に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、被災地の復旧・復興を支援するため、府民の皆様には温かいお力添えを頂き、深く感謝申し上げます。

消防団は、火災をはじめ、地震や風水害など数多くの

災害から地域を守るため、日々訓練をして備えています。

東日本大震災では、地元消防団の方が、防潮堤の水門閉鎖、避難誘導、消火活動、救助捜索、救援物資の輸送など、身を挺した防災活動を展開され、地域を守る姿に日本中が心打たれました。

消防団員は、災害に強い安心安全な地域づくりになくなくてはならない存在であり、日本の宝です。

どうか、若い力、地域にかける思いを、消防団活動で発揮してください。

多くの府民の皆様のご入団を心からお待ちしています。